



<http://www.hcr.or.jp>

Int. Home Care & Rehabilitation

CONTENTS

福祉機器の 常設展示場を活用しましょう!	1
H. C. R. 2006 報告 高齢者、障害者の 施設における事故防止	2
福祉機器の安全を考える	6

インフォメーション 福祉・医療関連 海外展示会スケジュール (2008年～2009年)	
NHK ハート展を開催	8

編集・発行：財団法人 保健福祉広報協会
Publisher: Health and Welfare Information Association
住所：〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル
TEL. 03-3580-3052 FAX. 03-5512-9798
定価 1部 200円 (消費税・送料込)

福祉機器の 常設展示場を活用しましょう! ～福祉機器に触れよう～

本会では毎年9月に福祉機器ガイドブックの発行とホームページ上 (<http://www.hcr.or.jp>) で福祉機器を検索できる福祉機器情報を更新し提供しています。また、今年で35回目となる国際福祉機器展 H.C.R. (2008年9月24日(水)～26日(金)東京ビッグサイトで開催) では、福祉機器選び方・使い方セミナーの開催と冊子の発行をおこなっています。

近年、福祉機器利用者より、福祉機器についての悩みが本会に多数寄せられています。その中で特に多いのが、「自分にあっている製品が分からない。」ということです。メーカー等に相談をすると、その企業の取扱製品のみになり選択の幅が狭まってしまうため、何社もの企業に資料請求している方もいます。福祉機器を選ぶ際には、できるだけ実物を見たり、触れたりすることをお勧めします。

福祉機器を見たり触れるためには、さまざまな製品が一堂に集まる展示会は有効な場と考えられます。しかし、現在ある展示会は主に年1回であり、必ずしも自宅の近くでおこなわれているとは限りません。そこで、身近で福祉機器に触れる手段のひとつとして活用していただきたいのが、「福祉機器常設展示場」です。

本会では、全国の福祉機器常設展示場情報をホームページ上 (<http://www.hcr.or.jp/permanent/index.html>) で提供しております。全国の都道府県・指定都市社会福祉協議会の協力のもと、各地の常設展示場の情報を毎年1月に更新しています。本年より問合せで要望が多かった、相談の具体的内容の記載、介護教室・研修会の有無について情報の提供をおこなっています。

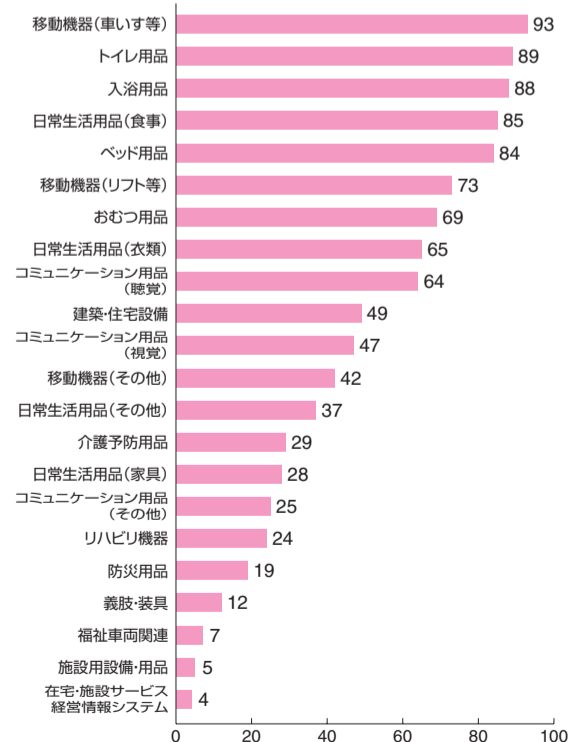
回答が寄せられた常設展示場は103か所です。内訳は北海道・東北13か所、関東・甲信越35か所、東海・北陸12か所、近畿16か所、中国・四国13か所、九州・沖縄14か所。1か所の平均展示面積は268㎡、平均展示点数は、459点でした。

常設展示場で製品の購入を希望する来場者が多数います。その場合も対応ができるように、機器の販売、販売企業の紹介、レンタル事業をおこなっているところが21か所ありました。

展示品の選定方法は、企業からの無償協力が78か所、自己負担による購入が53か所でした。その他、リースや他団体からの協力などさまざまな方法により展示製品が決められているようです。展示品の見直し時期については、随時おこなっている展示場が最も多く時期を決めておこなっているなど、意識の高さがうかがえます。

展示している製品分野については、移動機器(車いす等)が一番多く、以降トイレ用品、入浴用品と続きます。(複数回答)

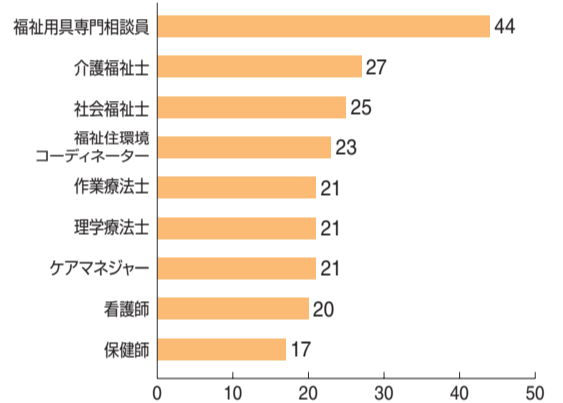
■展示品



また、展示以外の事業としては、相談事業が84か所、介護教室・研修会が65か所で行われています。

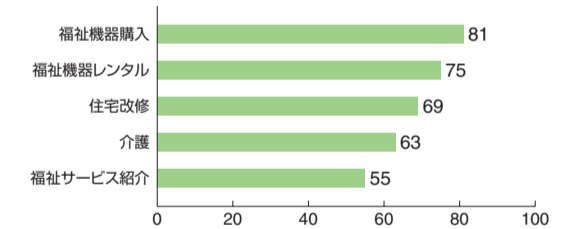
また。相談員の人数は合わせて285人でした。相談員の職種としては、福祉用具専門相談員を配置しているところが44か所と一番多く、介護福祉士27か所、社会福祉士25か所と続きます。(複数回答)

■相談員職種



相談内容は、福祉機器の購入が81か所、機器のレンタルについての相談が75か所、住宅改修についての相談が69か所、介護についての相談が63か所、福祉サービスの紹介が55か所でした。(複数回答)

■相談内容



介護教室・研修会では、ケアマネージャーや介護職などの専門職向けのセミナーの他に、介護が必要な家族のいる初心者向けセミナーなど、さまざまな情報を提供しています。福祉機器に実際に触れながらのセミナーをおこなっている展示場もありました。

福祉機器常設展示場は、製品の展示のみに留まらず、機器の購入・レンタル、相談事業、介護教室・研修会など幅広い活動をおこなっています。

ぜひ、本会のホームページ上 (<http://www.hcr.or.jp/permanent/index.html>) の福祉機器常設展示場を確認していただき、お近くの展示場で実際に福祉機器に触れてみてはいかがでしょうか。現在、福祉機器が必要ではない方も情報収集のひとつの手段として常設展示場を活用されることをお勧めします。